



## 気候危機を回避して持続可能なしまの実現を目指す宣言

世界は今、「気候変動」という危機に直面しています。気温が上昇することで、異常気象が日常化し、感染症や熱中症のリスクが高まっています。また、猛暑、干ばつ、豪雨の発生が農林業に打撃を与え、世界的な食糧不足が懸念されています。さらには、氷の融解等による海面上昇や自然災害により住まいや生活インフラが浸水したり、南方系の生き物が北へ移動することで、生態系のバランスが崩れ、森・里・海のめぐみの消失を引き起こしています。対馬でも気候変動の影響は出始め、自然生態系、産業、生活・健康等、私たちの生存基盤が脅かされています。まさに「気候危機」と言える状況です。

SDGs 未来都市である対馬市は、誰一人取り残さず、いつまでも安心安全に暮らせる持続可能なしま社会の実現を目指し、2050 年脱炭素に向けた国際社会の気候変動対策に協調しながら不断のチャレンジを行うことをここに宣言します。

対馬市ではこの宣言に係る取組として、対馬市 SDGs アクションプランに基づきながら、市民、地域団体や企業等と連携し、温室効果ガスの削減と吸収による気候変動の「緩和策」と、すでに起きている気候変動による影響を和らげ、あるいは起こり得る影響を回避する「適応策」の両方のアプローチから気候変動対策に努めます。

令和4年6月14日

対馬市長

比田勝尚喜

対馬市議会議長

初村 久藏

SDGs Future City  
Tsushima Island